

各位

■平素は、風雷社中の支援事業 風.fuuへのご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。当法人はみなさまにご利用・ご協力いただいている移動支援サービスを事業として10年目となります。風雷社中は障害者がガイドヘルプを使って外出することは欠くことのできない権利保障と考え、また障害者が街に出ることは街を変えていくことでもあり、そしてガイドヘルパーは街の人が障害者を知り街を変えていくために大切な関わり方(支援の一般化)であると考えて、多くの登録ヘルパーの方々に参加していただき、移動支援を基軸とした事業運営を行ってきました。

■この10年で、移動支援事業は多くの方々からその重要性を認知されるようになり、また街中では、移動支援を利用されている当事者と支援者の組み合わせを日常的に見かけるようになりました。その需要量の変化の中で、大田区の移動支援の予算も年々上昇しています。**しかし、ご存知のとおり、事業者側としては、支援者不足のために、利用者のみなさまからは多くの支援希望をいただきながら、十分にお応えできていない状況はまだまだ続いています。**

■風雷社中では、この10年間、支援者不足を解消するためにさまざまな試みをおこなってきました。一事業者の努力だけでは解決できない課題も、事業者のネットワークをよびかけ、行政との話し合いも積極的に行ってきました。その試みのひとつとして「ガイドヘルパーから始めよう」キャンペーンがあります。そして一方で、キャンペーンの他に、**当法人が独自に具体的に踏み込んだ取り組みとして、ガイドヘルパー養成研修を東京都に申請・登録して、5年前から実施を始めました。**

■ガイドヘルパーが足りない、という問題の背景となる原因のひとつに、ヘルパー資格を取るための研修が身近な地域で実施されていないことがあります。特に東京都内では、支援者不足に悩んでいる事業所が、身銭を切ってガイドヘルパー研修を開催するケースが多くなっていますが、さまざまな資格経歴を持つ講師が必要であったり、研修会場の確保も難しかったりなど、実際には、社会福祉法人などの大きな法人を除いては、事業所単体での実施はかなりの負担です。かと言って、そのコストを受講料に転嫁してしまえば、受講者が限られてしまい意味をなさなくなってしまいます。

風雷社中は、この研修のスタート時に、共同募金の助成金を申請して資金を補填してきましたが、この助成金は3年以上の継続はできず、以降は法人の資金持ち出しで、回数を減らして実施をしました。ただ、さすがに資金持ち出しでの継続は困難で、昨年度は初めて、研修を1年休止することになりました。

それでも、支援者不足の解消のために、また、研修を通して障害者とともに生きる地域を作っていくために、風雷社中は2020年度に、地域の高齢者を対象に特化した研修を企画し、再開を予定しています。

つきましては、研修資金の援助について、みなさまのご協力ご支援をお願いするものです。

研修の詳細とご寄付の方法は以下の通りです。

【研修開催予定】

- (1)目的:地域の高齢者等をガイドヘルパーとして人材発掘し、地域の高齢者が支援者として障害のある人に関わる契機を創出し、地域の共生社会意識を向上させていく。
- (2)対象:地域の高齢者を中心に、だれでも
- (3)会場:大田区内
- (4)実施時期:2020年10月~2021年3月を目処

【ご寄付の方法】

- (1)口座振込:三菱UFJ銀行 蒲田駅前支店 普通 0058567

特定非営利活動法人 風雷社中 理事 中村和利

※「理事長」ではなく「理事」です。

- (2)クラウドファンディング:別紙(右のQRコードからもご覧いただけます)

<https://camp-fire.jp/projects/204416/comments#menu>



*風雷社中は認定NPOではないため、ご寄付は寄付額控除/税額控除の対象にはなりません。